

新幹線工事の地元対策の協議会の対応は？

村上 信行 議員



さきの議会において、市は柴田地区からの地元要望「8項目」に対して、地元や市、鉄道・運輸機構で協議することを約束されたことから、市は積極的に地元住民が納得できるよう協議を進めるべきである。住宅密集地区にトンネル口を設置する全国初の事例であることから、協議会に地権者の代表者を入れ、規約をつくり、会議を公開とし、議事録を周知し、また、協議会終了後は地元説明会を開催し、地元の理解を得ることが重要である。

A

柴田地区の新幹線対策協議会については、市と鉄道・運輸機構、地元の三者が平等に、自由な意見を出し、問題の解決に結びつけるために設置されたもので、地元要望の8項目についても、一つ一つ丁寧に協議会の中で協議したい。

新幹線の開業問題について市長の考えは？

村上 信行 議員



新幹線の開業問題を考える政党検討委員会が始まり、大半の国会議員や長崎市、佐世保市、

嬉野市、武雄市の沿線の首長はリレー方式による暫定開業、もしくはフル規格による本格開業を希望している。諫早市長は、フル規格での本格開業による遅れは困るとの考えである。FGTの完成は不可能と言われる中で、大村市長としても態度を表明してはどうか。

A

新幹線開業に関する考えについては、国のFGTに対する考えや財源、佐賀県の問題等を慎重に考え、結論を出す。また、県と県内の沿線3自治体の首長で協議し、国からの説明を受けた上で、長崎県としての方向性を出すこととした。国から正式に聞き取りの話があった後、しっかりと態度を表明する。

国道34号など鈴田地区の道路行政について

廣瀬 政和 議員



与崎く本野間の国道34号の拡幅改良について、諫早市の本野地区は先行して工事が進んでいるが、鈴田地区の整備計画の進捗状況はどのようになっているのか尋ねる。また、新幹線工事の作業道路として一部拡幅されている白鳥橋く惣原区間の市道については、工事終了後もそのまま残す

ことはできないか。

A

国道34号の進捗状況については、計画段階評価に進めるための調査に着手されており、地域等の意見聴取の準備が進められている。また、新幹線工事に伴い拡幅された当該区間の市道については、見通しや縦断勾配において構造上問題があるため、残すことは困難だが、国道出口付近については、基準を満たしているため、関係者と協議したい。

通学路の安全対策

田中 秀和 議員



市街地などの学校周辺においては、ゾーン30の整備が進んでいる。一方、制限速度50キロの道路周辺にある学校を通行する車両の速度は速く、特に朝の通勤・通学時の時間帯などは非常に危険性が高い。本来であれば、信号機の設置が必要だが、まずは横断歩道が目立つようにカラー化することとはできないか。

A

通学路を含めた教育環境の整備については、PTA連合会から市長、教育長に要望、議会には陳情がなされているが、教

育委員会においては、警察や道路管理者、安全対策課と連携を図りながら、対応している。今後、横断歩道のカラー化についても、協議を進めていきたい。

長崎新幹線と今後の大村の発展について

小林 史政 議員



長崎新幹線の本格開業の遅れは、市民にとって重大な問題である。FGT方式と対面乗り換え方式を比較したとき、年間乗降客数と経済波及効果がどのような影響が出るのか。また、福重地区付近の「立花水源」に在来線の新駅を設置する計画があるが、新駅と駅前広場の建設費用はどの程度になるか尋ねる。

A

長崎新幹線の本格開業の遅れが及ぼす影響については、新大村駅前における土地区画整理事業に影響が与えることとなり、問題が生じる。また、福重地区の在来線新駅の駅前広場のあり方については、今後議論することとなるが、新駅と駅前広場を設置するための費用は発生するものと思われる。

